

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度国際ロータリーテーマ

第1713回例会

令和4年6月2日 (12:30～13:30)

○ソング

- 国歌 (君が代) ●奉仕の理想

○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長 (ホームミーティングの班長の皆さん、発表者の皆さん、参加されて意見を言ってくれた皆さん、大変ありがとうございました。)
- 須藤正樹幹事 (ホームミーティング報告お疲れ様でした。先日ゴルフでバーディーをとりました。あと5cmでイーグルでした。)
- 藤田和克会員 (ホームミーティングの発表の皆様、ありがとうございました。)
- 山口治会員 (誕生日のお祝いの品を頂きありがとうございます。今月66才になります。ロータリークラブに入会して20年、入会の頃を考えると、まさか会長まで受けるとは思っていませんでした。でもすばらしい経験でした。)
- 矢田部錦四郎会員 (ホームミーティングでは、櫻岡会員お世話になりました。バイク愛好会のツーリングは、19日(日曜日)になりました。参加宜しくお祈いします。)
- 高島裕会員 (昨日は沖縄ゴザRCの皆様を接待して頂いた皆様お疲れ様でした。また先日米沢中央RCの宮嶋エレクト、赤間パスト会長が5名でおいで下さり、おみやにお酒を2升頂きましたのでご報告致します。また誕生日ありがとうございます。)
- 齋藤孝弘会員 (昨日バーディー1つとったので、スマイルします。堀田さんありがとう!!)
- 青木大会員 (昨日、コザロータリーのメンバーが来白され、那須ゴルフクラブでプレーをしました。スコアは、94と良くなかったですが、ハンデに恵まれ優勝する事ができました。ありがとうございました。)
- 金田昇会員 (鈴木須藤年度もラストスパートですね。バトンを上手につないでいきましょう。)
- 鶴丸彰紀会員 (先週、今週と続き、ホームミーティングの各班ご報告ありがとうございました。親睦委員長として、ご協力頂きました皆様に感謝致します。)
- 増子国安会員 (誕生日ありがとうございます。決してお祝いを頂きに来たわけではありません。時間がある限り参加したいと思いますのでよろしくお祈いします。)

▶第1713回例会出席状況 (R4年6月2日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	65名
Ⓒ ①の出席者数	28名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	7名
Ⓕ ②の出席者数	8名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	43名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	59
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	72.9%

本日のプログラム

■会長の時間

鈴木孝幸会長



皆さん、こんにちは。本日も例会に参加していただきまして、ありがとうございます。6月、今月が私どもの年度の最後の月であります。ということは、私が会長として君が代を歌うのが今日が最後ということで歌わせていただきました。君が代を歌う時にこれは永野さんに教えていただいたことなのですが、今日はメーカーで外に出てますが、指を真っすぐ伸ばした中指をズボンの縫い目にピシッと両脇に合わせて、胸を張って日の丸を見て歌うのが君が代の歌い方だよというふうに指導を受けたことを毎回実践しております。それと、奉仕の理想につきましてはこれは今、名誉会員の林名誉会員が言っていたことは、まずこのロータリーの例会が始まる時に歌を歌うのは、初めに楽しく大きい声で歌を歌って気持ちを盛り上げていく。せっかくの例会を楽しく過ごすために、初めに歌があるんだということをお話していただいたのをふと思い出しました。本日も進めていきたいと思いますが、今日の例会は先週に引き続きホームミーティングの発表の例会であります。先週は4名の方にホームミーティングを発表をしていただきました。今週も残り4名の方にホームミーティングの内容を発表していただきますが、久しぶりにお二人さんが来られているので非常に楽しみにしております。白岩会員、そして増子会員、是非是非お話が上手なので時間をあますことなく沢山喋ってください。よろしくお祈りします。このホームミーティングというのは、今回のテーマは非常に次年度の一年のヒントになる内容を話していただいたんですけど、多分また面白い内容が聞けるのかと思うので、テーマ以外の楽しいこともあるかと思いますが、そういったものも織り交ぜて是非発表をよろしくお祈りしたいと思います。実はおとといから沖縄のコザロータリークラブさんの前原さんと、次年度会長の島袋さん。それと坂元さん、坂元さんは出身は京都の方なんです。あと、横浜東ロータリークラブの大内さん。いつもコザクラブにメーカーで来て、本当にコザロータリークラブの会員みたいな方なんですけど、その大内さんが4名で白河におとといから来られています。実は、東京で地区

大会が行われまして、沖縄地区というのは東京地区と同じブロックなんです。ですから、地区大会をやる時には沖縄の方も東京に来て地区大会に参加されるということで、その足で白河に入ってくれました。事前から予定していたことだったんですけども、ここだけの話なんですけど実はその参加した地区大会にはコザの方々には2時間半しか参加せずに、そのまま白河に移動してきたようがあります。まるっきり、西クラブとの交流のためにやってきたということになります。おとといの夜から接待をして、晩は青木会員の「楓」でお迎え会を行いました。昨日はゴルフ愛好会で那須のゴルフ場に接待をさせていただきました。永野バスト会長はじめ、参加していただきました皆さん、どうもありがとうございました。夜は、高島会員の「牛楽」で打ち上げ表彰式を行って、もちろん二次会。なんか話で聞くと、二次会、三次会、四次会ぐらいまで行って、夜の11時半をふけるまでずいぶん飲んで、楽しく盛り上がっていたようがあります。私は仕事の案件で途中で中座させてもらったんですけども、あとで幹事のほうから報告を聞きまして、盛り上がって十分接待ができたのかなと喜んでおります。実は本日もその4名のコザの方を「グランディ那須白河」でゴルフの接待で、居川バスト会長と成井ゴルフ愛好会の委員長、あとは運天会員と永野バスト会長の4人が一緒に今頃楽しく後半のラウンドを回っていることと思います。本当は私も正直出たかったんですけども、前々からちょっと計画をしようと思っていたんですけども、今日、昼の例会なのでそれを夜の例会に変えて、コザさんに今日の夜の例会に参加してもらってメーカーで来てもらって、皆さんにお顔を見せていただいて帰っていただくのがいいのかななんて言ったんですけども、なかなか行程も一日延びてしまったりすることもあるので、そういったことはちょっとできずに今回はこういった形で、今ゴルフで回っております。コザの皆さんは本日、ゴルフが終わった後に沖縄に帰られるといっても、実は沖縄に帰るのは前原さんだけで、あとは沖縄の島袋次年度会長は昨日今日とゴルフをやったんですけども、実は明日は福岡に移動して福岡でゴルフ。それも、トーナメントに出るんです。二日間、本当にトーナメントに明日と明後日出場して、それから帰るということになります。坂元さんは沖縄からじゃなくて京都の自宅のほうに帰られる。あとは大内さんも横浜の方なので、横浜のほうに帰られるということになります。本当に島袋さん、先程話しましたが、4日連チャンのゴルフで物凄いタフであります。実は昨日のゴルフは島袋さんと私、回らせていただいたんですけども、島袋さんのスコアは前半が39の38ですかね。確か、ファイブオーバーの77というスコアで、本当にこの人プロじゃないかって、凄い腕前の持ち主であります。実は、こんなコザの話をしてもらったのは、来年はコザロータリークラブと白河西ロータリークラブの姉妹クラブの締結が20周年になる年です。ご存じの方も中にはおるかと思うんですけども、この周年事業を何かの形でやりましょうというふうな形で、昨日の夜もそういった

《6月特別メニューお品書き》

～宮城県～



笹かま
白菜の漬け物
牛タンの煮込み
はらこ飯
はっと汁
デザート

話が出て盛り上がりました。沖縄に行ったり白河に来ていただいたりというのもそうなんですが、そうではなく一緒に海外のクラブとかにメーキャップに行くというのも、本当に実現すればいいねなんていう話も出ました。その際には、是非皆さんにもご参加いただきまして、クラブ全体で姉妹クラブの20周年を盛り上げていければいいなんて考えておりますし、コザの方々ともそういった事をお話をした次第であります。次年度は高島会長、そして次年度のシスター委員長は今年の須藤幹事です。来年の交流に期待したいと思っています。みんな来年は是非、コロナ禍が終息することを祈りたいと思います。ということで、来年のコザクラブとの20周年の式典を見据えたこの3日間のコザクラブとの交流を簡単ですがご報告させていただきました。以上を持ちまして、今日の会長の時間は終わります。それでは、本日よろしくお願いたします。

■幹事報告

須藤正樹幹事

- 国際ロータリーデータサービス部：2022年7月クラブ請求書の作成にあたってのお願い
- 国際ロータリー日本事務局 業務推進・IT室：ロータリー親睦活動月間リソースのご案内
- 国際ロータリー日本事務局 経理室：国際ロータリー日本事務局経理室より2022年6月RIレートのお知らせ

■委員会報告

○雑誌広報委員会

大竹憂子委員長



皆さん、こんにちは。雑誌広報委員会の大竹です。「ロータリーの友」6月号をご紹介します。まず、横組みの4～5ページ「RI会長メッセージ」ですが、最後のメッセージということで、言葉は少ないですがいろいろとされてきたその事業だったりのお写真とかが載ってまして、最後に「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために」という言葉が印象的でした。続きまして、7～17ページ。10ページに渡りまして「特集規定審議会」が載っております。その中でも11ページあたりなんですけど、ずっと読んでいきますと本当にそれぞれの考え方はもちろんですが、言葉の違いだったり、お国柄の違いだったり、なかなか意見を交わすというのは大変だろうなという印象を受けながら見ていくと、11ページのほうに代表議員は辛いよというようなことが載ってまして、ここではやっぱりコロナ禍でいろいろ大変だったなということをととても感じます。皆さんもいろんな会議や何かでもハイブリットで、もちろんこのロータリーもそうでしたが、そういうことを繰り返してるこの中でやっぱり大変だったろうなというのをとても感じました。また12ページからは、規定審議会の歴史ということで載ってまして、これも私はとても楽しく見させていただいたんですけども、1989年に女性の入会を認められたとか、2001年には正会員と名誉会員の2種類ができたとか、そういうのも、あっそうなんだと、この年なんだなんて思いながらちょっと見て

いったので、皆さんもご覧になっていただければと思います。続きまして31ページですが、ロータリーの友委員会委員長の挨拶が載ってまして、やはりコロナ禍で大変な思いをされながら編集されてきたんだなというのをとても感じました。続きまして、縦組みのほうに行きます。縦組みの4～8ページのほうに、「科学の目で見た海のプラスチックごみ」ということで、とても考えさせられる内容です。海の中に細かいプラスチックごみがあり、それを魚が食べて、その魚を人間が食べているということを深く考えさせられる内容でした。大事なポイントということで、6ページのほうに載ってるんですが、ここで印象的だったのが、ここで皆さんがごみを拾うんですが、その拾うごみは皆さんが捨てたごみだという内容が書かれているところがやはり印象的でした。直接海へ流れるごみではなくて、ももとは陸地であつたり川であつたり、そちらに流されたごみが海へ流れていってという、その研究結果などが載っていますのでご覧いただければと思います。次は、「この人訪ねて」ということで、9～12ページなんですけど、この中は本当に長谷川ご夫婦とか、あと鎌倉ロータリーの方々のなんかほっこりした話だなというふうな印象がありまして、とても仲睦まじい感じの内容になってますので、ちょっと皆さんもご覧になっていただいて、ほっこりしていただけたらと思います。細かいことはいろいろ載っていますが、女性ならではの目が行ってしまうものがあつたりしたんですけども、細かいところはあと皆さんご覧いただければと思いますので、よろしくお願いたします。以上で紹介を終わります。

○親睦委員会

瀬谷隆志委員

・結婚記念日

小林義勝会員、齋藤孝弘会員
横田俊郎会員、高島裕会員
緑川直人会員、水上泰真人会員

・誕生日

安部和夫会員、山口治会員、高島裕会員
兼子聡会員、増子国安会員



○高島裕会長エレクト



皆さん、こんにちは。委員会報告ではないんですが先日、米沢中央ロータリーさん次年度の宮嶋会長エレクトさんはじめ、赤間パスト会長さん達5名で白河のほうにおいでくださいまして、次年度更に絆を深めていきたいと思いますというのでお見えになりました。

こちら金田分区ガバナー補佐、そして鈴木会長、須藤幹事、私、車田次年度幹事の5名でお迎えをしたところであります。皆様によりしくお伝えくださいということで、お酒を2升お預かりしたので、納涼会か何かお酒の出る席でお披露目したいと思いますので、あくまでもこちらご報告ということでさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。

■本日のプログラム

ホームミーティング報告

○2班

増子国安会員



第2班のホームミーティングの発表をさせていただきます。その前に今、思いがけずお誕生日祝いただきましたありがとうございます。なんかちょっと久しぶりに来たのにいただきちゃって、大変申し訳ございません。あと、お昼も大変美味しいお昼ありがとうございました。昨日はちょっと仙台に行ってきたんですけど、食べずに来て本当良かったなと思ってるんです。2班はまず場所ですが、「タントゥ」で開催いたしました。日時は5月10日の18時半から行いました。参加者ですが、石部班長のもと、鈴木孝幸会長出席していただきまして、それと富永さん、諸橋さん、松永さん、吉田さん、運天さん、わたくし増子ということで8名で行いました。はじめ8人分料理あったんですが7名しかいなくて、増子君、それちょっと余ってるから食べていいよなんて食べたら、運天さんが遅れてきまして運天さんの分食べてしまったこと、大変申し訳ございませんでした。テーマですけど「コロナ禍だからこするべき奉仕活動とは」1番。2番、「これからのロータリーの奉仕活動」ということで、この2つのテーマを持ちまして話し合いをいたしました。まず、会長からお話をいただきまして、会長からは今年初めてのホームミーティング、こうして開催されることに対して大変わずかな時間の中でこうして皆さんと飲めることが大変嬉しいというふうな話をいただきました。その中で、テーマはありますけどそのテーマに限らず、自分の中で思うことも自由に発言していただきたいというふうなことで、会長の話からホームミーティングはスタートいたしました。大変綺麗に飾られた食事の中で、盛り付けも食事も美味しい中、声も会話も弾ませて皆で楽しい時間の中で思ったことを言えた、話し合えたんじゃないのかなと、私の見解ですけども思った2時間半でございました。まず、最初に石部班長のほうからは本当に今、子供たちのために何ができるのかというふうなことで話がありまして、子供たちにはこうして人と人が触れ合えることが少ない中で、活字に対してもうちょっと触れ合う機会を増やしてみたいというふうな話をいただきました。その中で、子供たちの新聞の発行があった事例の話ですとか、その他にも自分たちで新聞を発行してみたりとかすることで、機会を設けることができるのであれば、そういった子供たちの成長、活字に対する触れ合う事と活字を作る事での子供たちの成長す

る機会を与えられるのではないかとというふうな話がございます。その中で対して今そのSNSも、とても今当たり前の時代になったので、そういったものに対しても少しづつ取り組むことも必要なのではないかとというふうなことでお話をいただきました。話が変わりまして、今、昨年一昨年、白河第一小学校の吹奏楽部のほうに寄付をしたというふうなことと、白二小も今年してるというお話がありまして、これを広めていきたいというふうなお話もございました。これから白河市内、白三小もありますし、その他小学校も数多くありますので、そういった活動を白河中に広めていくことで、そのロータリーとしてそれぞれ奉仕していきたい。コロナ禍だからお互い触れ合えない中で何ができたかというふうなことも考えないといけないんですけども、非常にそれは難しいよねというふうな話になりました。実際に今までやってた活動もできなかったりとか、万が一コロナになった時のリスクも考えれば、行動するのも難しいけども、今までやってた事に対して気を付けながらやったほうがいいんじゃないかということで話を進める中で、話ちょっと変わりまして、今コロナだから困ってる人もいるんじゃないかとかいうふうなことの話題になりまして、母子家庭とか子ども食堂があるんですけども、そういった所に来る子供が増えてたりとか、本当に母子家庭で収入がコロナのせいで減った家庭が多くあるでしょうというふうなことを話しまして、そのことに対してもちょっと目を向けていったら、その地域の手助けになるのではないかとという話があったりですとか。また、今の社会の話題、大きなテーマですけど福利厚生、健康寿命、年をとっても元気に生きることというのは、一つのテーマなんじゃないかと。このことに関しては、いろいろとロータリーでやるべきなのかやるべきじゃないのかというふうな話もありましたけども、そういった今抱えてる問題に対しても一つ目を向けて話し合う事なんか大事ではないかということで。コロナの中、何ができたかということと、コロナだから起きた問題というのがあるのではないかとというふうな話もさせていただきました。そして、障がい者さんなんか合わせて今まで働けてたけども、このコロナのせいで働けなくなっちゃったというふうなのが沢山いるから、その人の手助けみたいなことも何かしらの形でできないですかねなんていうふうなこともしてたりもする中で運天さんがカランコロンって遅れてきまして、運天さんに一言謝ったので、みんな8人揃ってお話を進めることができました。我々の普段している仕事で個人の奉仕の心というのを、やっぱり周囲にも生かすべきだろうというふうなことで、まずは職場の中でコロナもそうですけども、そのことに対して奉仕の心を持って、やっぱり仕事を会社としてすることも一つ大事なことですよねなんて話して、当然コロナだからそのコロナの中でも本当に会社でそういったお客様であったりとか取引先に問題をかけずにご迷惑をかけずに仕事をおこすことが、まず仕事してるのが大事だよなんていうお話もありました。というふうな形で、最後に運天さんのほうから、

海外交流とか他県との交流をもっとしなきゃ駄目だよねっという話になりまして、ロータリーの一つの醍醐味でもあると思うので、そういったことに対してももっとも他の地区、他のロータリーでも私たちがしてない事で、もっと良いこと沢山あるんだというふうなことで話をしまして、そういうのも是非勉強させていただいて、もっともっと白河西で出来ることを増やしていきたいというふうなことでの話で、大体2時間半くらいでまとまった次第でございました。以上、2班の報告でございました。

○ 4班

井上敬裕会員



皆さん、こんにちは。早速ですが、先日のホームミーティングの4班の内容について発表させていただきたいと思っております。行われました日時につきましては、5月16日の木曜日の6時半から「楓」で行いまして、山田班長のもと2名欠席があったんですけども、金田県南分区ガバナー補佐、それと永野パスト会長、安部パスト会長、須藤幹事、そして私の6名でホームミーティングのほうを行いました。テーマが二つに分かれておりまして、一つがコロナ禍だからこそすべき奉仕とは何かといったところと、もう一つに関しましてはこのコロナ禍の終息後、西ロータリーとして一番やってみたい奉仕活動についてお話のほうをさせていただいたんですけども、沢山意見が出ましたけども、それぞれ3つくらいにちょっと絞ってお話のほうをさせていただきたいと思っております。まず前提として、やはりその1、2両方に共通するものかなというふうに思うのが、皆さん共通して仰ってたんですけども、やっぱりこのコロナ禍になりまして数多くのイベントのほう中止という形になりまして、それは男女問わず、子供大人問わずいろいろ皆さん、損害といいますか、できることができなかったといったところがあるんですけども、やはりその中でも特に子供が何か思い出を作ることができなかったというところが一番大きいのではないかとといったところがありまして、そこにフォーカスをしました意見がありましたので、発表のほうをさせていただきたいと思っております。まず、テーマ1番の「コロナ禍だからこそできること」としましては、やはりコロナ禍なので密になることができないといったところがありますけども、ただ今もそうですけどもズームとか、新しいIT、デジタル関係のほうの活用といったものが進んでいますので、そういったズーム関係等を活用して、音楽、美術、歴史といった文化芸術的なものをセミナーで紹介していくのはどうかという意見が出ました。あともう一つは、少し下火になってきたかなといったところがありますので、密にならない程度にやはり音楽会というものを開催をして、実際に本物の音楽に触れる機会を設けてはどうかという意見のほうも2番目として出ました。そして3番目なんですけども、やはりこのロータリークラブの皆さんの職業というのが一つではなくて、多種多様に渡ってるといった観点がありますので、そういった多種多様に渡っている職業をズームとかで紹介してはどうかというご意見のほうも出ました。そして、

テーマ2番のところでそれらを踏まえてといった連動制もあるんですけども、テーマ2のところに関しましては、やはり外に出るきっかけとして友達を多く作ってほしいという願いを込めまして、子供たちを連れて他の地域へ、スポーツチームとかを連れて、大会の開催とか支援してはどうかというお話も出ました。そして2番目なんですけども、先程の音楽会のところに繋がってくる話ではあるんですけども、もうコロナ禍が終息した後に関しましては、皆さん、触れ合う事もできるような形になってくると思いますので、そのコロナ禍ではズーム、もしくは音楽会で演奏を聴くだけだったところを、今度は触れ合う事もできるようになりますので、実際に楽器に触れてそういった演奏の体験会などの開催をしてはどうかという意見のほうも出ました。そして、先程のテーマ1の3つ目と連動するんですけども、職業のところにつきましては、確かにコロナ禍ではズーム等を活用して職業の案内しかできないと思うんですけども、コロナが収まったら実際に工具でありますカンナを使ってこういうふうな仕事をするんだよとか、そういった実体験に基づいた催し物をするのはどうかという意見のほうが出た次第です。こういったお話が出る中で、最後に全体的なところで他に出た意見のほうを3つほどご案内のほうをさせていただきますと、私もいいなと思ったんですけども、やはり倫理観といった観点も含めて、先程の広報誌のほうにも書かれておりましたけども、ロータリークラブとは何かといった勉強会ですね。そういったものを開催してはどうかという意見も出ましたし、あとはメーキャップのほうを活用して、ほかのロータリークラブの例会などにも参加してもいいんじゃないかとか。あと最後になりますけども、やはり子供同様に大人のほうも外に出れないといったところがありましたので、ロータリークラブメンバー全員で更に親睦を深めるといった観点でも、一緒に旅行に行きたいという意見が出て、ホームミーティングのほうは無事に終了したといったところでした。

○ 5班

湊洋子会員



皆さん、こんにちは。第5班、ホームミーティングの報告をさせていただきます。5月27日金曜日、夕方6時半より、場所は「アジア」にて、班長十文字会員、鳴島会員、池田会員、藤田会員、鶴丸会員、根本あゆみ会員の6名で行われました。私はちょっと出席できませんでしたので、今回報告とさせていただきます。テーマ1の「ロータリアンとしてコロナ禍だからこそすべき奉仕は何か」ですが、個人で行う職業奉仕の推進を図るべきではないかといった意見。密にならない屋外での奉仕活動として、南湖公園や小峰城周辺の清掃活動といった意見や、過去に植樹やベンチの寄贈、海外の小學生にランドセルの寄贈といった奉仕活動を行っており、今回モニュメント的なものを作成してみようかということで、我がクラブには池田浩章会員がおられるので、看板で何かしてみようといった意見もありました。また、コロナを理由に何もしていないが、定着しないよ

うに日頃より気を付けて活動していくことが大事ではないかといったご意見もありました。続きまして、テーマ2の「コロナの終息後に西ロータリークラブとして一番やってみたい奉仕活動や事業は」ですが、最も多く意見があったのが、以前のように姉妹クラブとの交流会を取り戻したいということで、米沢中央、深谷ノース、コザロータリークラブをはじめ、海外への奉仕活動も積極的に行いたいという意見です。その中には、他のロータリークラブの会員さんで、日本全国から世界中のロータリークラブへメーカーキャップをしている伝説的な方もいるという大変興味深い話も聞くことができました。また、日本の平均年齢も上がってしまい輸血が減っているらしいということで、献血はどうかといった意見もありましたが、どんな血でも良いわけではなく、普段何かしらの薬を服用していると受け取ってもらえなくなるよと藤田会員の鋭い指摘の中で、あっ俺は駄目だ、俺も駄目だと、第5班はなってしまいました。案として献血が出ています。その他にも、白河の歴史をもっと詳しく知りたいといったことで、勉強会や講師を招いての卓話。白河西ロータリークラブの歴代会長の当時の活動やエピソード等も聞いてみたいといった意見が出てました。以上で、第5班の報告とさせていただきます。

○7班

白岩修一会員



改めまして、こんにちは。第7班のホームミーティングの報告をさせていただきますと思います。班長は渡部班長で、5月18日、18時30分より「カフェ・ド・タントゥ」で行いました。出席者は、渡部班長、佐藤幸彦さん、鈴木信教さん、阿部克弘さん、瀬谷隆志さん、あとわたくし白岩です。ホームミーティングの報告としまして、テーマ1、このコロナ禍にありまして対外的な活動が制限されてしまうので、新入会員や歴の浅いメンバー向けにロータリーについての勉強会や親睦を図る機会を作るのが良いのではないかと。こども食堂などに支援してみてもどうかということで、白河には今、こども食堂のそういう団体が多分6団体くらいあったと思うんですけども。その辺と協力とかそちらに支援してみてもどうかということがございました。また、南湖公園とか公共施設周辺のごみ拾いですとか環境美化活動。また、イベントとかスポーツをしながらごみ拾いを行っている団体があるんですけども、そちらのほうに例えば清掃用具の支援とかをしてもいいのではないかとというのが出ました。続きまして、テーマ2のほうなんですけども、今後コロナ終息後に西ロータリークラブとして一番やってみたい奉仕活動や事業ということで、小中学生を対象にしました演奏会ですとか、毎年開催の音楽コンクールを西ロータリー主催で開催してみてもどうかということでございます。また、メンバーの中でギターやフルート、トランペットなどやっているメンバーがいますので、メンバー主体で家族も巻き込み、西ロータリー楽団をみんなで作ってみてはいかがでしょうかという話も出ておりました。あと、西ロータリーメンバー

の皆様方の職場巡りや体験ですね。今回、住職さんお見えになってましたので、例えばお寺で座禅とか、そういうのもやっても面白いのではないかとということもございました。また、先程もありましたけども城山公園など、そういう所に植樹などをしてみてはどうかということもございました。最後に、コロナ終息して、今、懇親会ですとかお酒を設ける席が少なくなってきてますので、飲食店がどうしても落ち込んでいるということもありますので、これから、懇親会とか、そういう交流を深めながら飲食店を盛り上げていければというふうに思っております。わたくし個人的な意見というか、感想なんですけども、今回ちょっと初めてホームミーティングに参加させてもらいまして、こういう例会とかで、なかなかコミュニケーション取れなかったりするんですけども、非常にこのホームミーティング、こじんまりとした小数の中で楽しくコミュニケーション取りながらお食事できて、とても素晴らしい有意義な機会だったかなと思いますので、これからもよろしくお願ひしたいと思ひます。

○講評

鈴木孝幸会長

今日のホームミーティングの発表、どうもありがとうございました。本年度初めてということで、ちょっと強行して先週と今週とやって良かったなあなんて本当に今思っています。今日の発表者の、増子会員、井上会員、湊会員、そして白岩会員。本当この4人の論客で、時間が繋がって内容の濃い素晴らしい発表だったと思ひました。増子君については、私計ったんですけどなんと10分も話された。これ本当に中小企業同友会のほうで鍛えられた素晴らしい話だななんて思ひました。皆さんの話の中で、いくつかキーワードが出てきまして、姉妹クラブとの交流とか、海外への交流に行きたいとか、県外。やはり、その活動したいというのが非常に大きい意見だったと思ひます。こども食堂なんて話もありましたし、あと音楽イベント。そういったイベントを開催したいということも沢山出ておりました。本当にこういった活動を通して、もう一つありましたけど、こういった活動を通して飲食店を盛り上げたい。こういうこともやはりロータリークラブとして、良い活動なのかなと思ひています。最後に、白岩会員のほうから意見がありました。なかなか白岩会員、忙しくて例会に出てきてくれなかったんですけども、こういった例会に出てきてもうまく交流ができなかったようんですけど、こういったこじんまりとしたホームミーティングに出て、非常に楽しかったというふうに言ってくれたので、本当に今回ちょっと無理きりな行程だったんですけども、ホームミーティングを本当に開催して良かったなあなんて、今つくづく感じております。先週の1712回の例会の週報、そして今回の1713回の週報は、次年度の高畠会長にとってバイブルというか羅針盤というか、そういった大切な例会内容になると思ひますので、良い次年度にプレゼントができたなど。みんなからのプレゼントができたなどと思ひしております。一応、会長の話は最後のお話はこれで終わります。ありがとうございました。